

第2回 インフラメンテナンス大賞 について

インフラメンテナンス大賞の目的

日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施するものです。

創設の位置づけ

- ・社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 提言（平成27年2月）
- ・日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-（平成27年6月30日閣議決定）
- ・日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-（平成28年6月2日閣議決定）
- ・政務官勉強会 提言（平成28年7月29日）

応募部門について

ア. メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫（3に該当するものを除く）

イ. メンテナンスを支える活動部門

1の取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動（3に該当するものを除く）

ウ. 技術開発部門

インフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

表彰の種類について

1. 大臣賞

国土交通大臣賞、総務大臣賞、情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、防衛大臣賞

2. 特別賞

3. 優秀賞

第2回の応募状況について

募集期間：平成29年10月4日～11月30日

応募件数：205件

受賞者数：32件

審査・選出方法：有識者による選考委員会（委員長：山極 壽一 京都大学総長／日本学術会議会長）による審査を経て受賞者を選出